

令和2年度 自己評価表

名古屋動物専門学校は、高等教育機関として在学生在がより良い教育を受けることができるよう学校運営、教育活動について常に改善を図り、教育の質の向上と保証を図るために自己点検・自己評価を行いました。以下に令和2年度の結果を報告いたします。

1. 学校法人立志舎グループの沿革

- 1979年 東京IT会計専門学校が学校法人として新たにスタート。コンピュータ教育を導入。
- 1981年 全国高等学校簿記選手権大会を学園が主催。第4回大会から文部省の後援を頂き、簿記の甲子園として広く親しまれる。学園名物の第1回就職出陣式、第1回合格祝賀会開催。
- 1983年 公認会計士試験、税理士試験に専門課程在学生在から全国最年少合格が誕生。
日本の専門学校で初めて公務員コースを設置。1年目に早くも151名の現役合格者を輩出。
- 1988年 情報管理学科を設置。情報処理分野の国家・検定試験においても次々と快挙を成し遂げる。
- 1989年 大阪IT会計専門学校、大阪法律専門学校開校。
- 1990年 日本スクールオブビジネスが開校。マルチメディア、スポーツ、トラベル、医療などの総合ビジネス学園として、新たな一步を踏み出す。
- 1993年 公認会計士試験11年連続専門課程現役合格達成。
- 1994年 東京法律専門学校より、司法試験史上初の専門学校生現役合格者が誕生。
- 1995年 専門課程在学生在から経済産業省ソフトウェア開発技術者試験79名、基本情報技術者試験462名現役合格。情報処理分野においても名門の地位を確立。
- 1996年 経済産業省において、25歳未満の人が受験できる最上級レベルの経済産業省テクニカルエンジニア(ネットワーク)試験に専門課程在学生在から2名の現役合格者を輩出。
- 1997年 東京IT会計専門学校杉並校、東京法律専門学校杉並校、東京IT会計専門学校名古屋校、東京法律専門学校名古屋校開校。
- 1998年 日本スクールオブビジネス21、東京IT会計専門学校仙台校、東京法律専門学校仙台校開校。
公認会計士試験、税理士試験において専門課程在学生在から全国最年少合格を輩出。
- 1999年 東京では11年ぶりの私立の新設高校として、立志舎高等学校を開設。
専門課程在学生在から税理士試験全国最年少合格者輩出。
- 2001年 簿記大会にIT部門を新設。全国高等学校IT・簿記選手権大会となる。
- 2002年 専門課程在学生在から税理士試験全国最年少合格。さらに、IT関連の国家試験に抜群の実績をあげる。
- 2003年 専門課程在学生在から司法試験現役合格。東京IT会計法律専門学校横浜校、東京IT会計法律専門学校大宮校開校。専門課程在学生在から税理士試験全国最年少合格者輩出。
- 2004年 専門課程在学生在から税理士試験全国最年少合格(3年連続)含め6名現役合格。公認会計士試験、経済産業省情報セキュリティアドミニストレータ試験、テクニカルエンジニア(ネットワーク・データベース)試験、ソフトウェア開発、基本情報技術者試験等IT関連の国家試験に抜群の実績をあげる。

- 2005年 京都IT会計法律専門学校、大阪IT会計専門学校天王寺校、大阪法律専門学校天王寺校開校。
- 2006年 日本動物専門学校、専門学校日本動物 21 開校。全国高等学校IT・簿記選手権大会にFE部門を新設。
専門課程在学学生から公認会計士試験全国最年少合格者輩出。
- 2007年 東京IT会計法律専門学校千葉校、大阪動物専門学校開校。
- 2008年 専門課程在学学生から公認会計士試験全国最年少合格者輩出。経済産業省高度情報処理技術者試験に34名現役合格等の合格実績をあげる。大阪動物専門学校天王寺校開校。
- 2009年 名古屋動物専門学校開校。経済産業省高度情報処理技術者試験に36名現役合格等の合格実績をあげる。
- 2010年 第30回記念合格祝賀会を盛大に開催。国税専門官試験26年連続現役合格達成。
- 2014年 立志舎グループの各校が文部科学大臣認定「職業実践専門課程」設置校になる。
- 2020年 立志舎グループの各校が高等教育の修学支援制度の対象校として認定される。
公認会計士試験現役合格34名、税理士試験現役合格6名
国税専門官試験36年連続現役合格
法科大学院（ロースクール）に司法試験制度改革以来15年連続現役合格
経済産業省高度情報技術者試験（データベース・情報処理安全確保支援士）現役合格24名
総合旅行業務取扱管理者試験現役合格40名
国内旅行業務取扱管理者試験現役合格107名
宅地建物取引士試験 入学後半年合格25名 現役合格30名
国家公務員総合職・一般職（大卒程度）・地方公務員上級・中級等現役合格 1, 185名、
公務員初級等現役合格5, 767名／警察官・消防官・自衛官現役合格3, 784名／等
（'21年3月専門課程卒業生／1次筆記合格のべ）
民間企業就職率98.21%、上場企業就職率37.70%（動物分野を除く）、28.02%（動物分野）（'21年3月専門課程卒業生）

2. 学校の教育目標および特色

本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、動物に関する専門知識、職業遂行に必要な知識及び人間と動物が共生できる確かな技術を授け、併せて豊かな人間性を養い、社会に貢献しうる有能な人材を育成することを目的とする。

本学の特色は、開学以来独自の教育システムである「ゼミ学習」を導入していること。また動物およびビジネスに関する資格を取得し、実習を行うことにより幅広い知識や技能を身に付け動物業界のみならず異業種企業や官公庁にも就職していることである。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
ロ. 学校における職業教育の特色は何か(特色は設けているか?)	④ 3 2 1
ハ. 理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか	④ 3 2 1

二. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1
---	---------

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

開学以来「ゼミ学習」(注)という本学独自の教育システムを導入していることにより、明るく楽しい学園生活と、資格取得実績、検定試験合格実績、民間企業就職実績が両立している。動物系企業をはじめとする民間企業への就職実績と、明るく楽しい学園生活が両立している。

また、「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標として、教職員一丸となって学校運営に取り組んでいる。

(注) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を十分に講じ、対面で行う「ゼミ学習」よりもオンラインによる授業を展開した。また、球技大会や学園祭など学校行事は中止した。

(2). 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
ハ. 人事、給与に関する制度は整備されているか	4 ③ 2 1
二. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
ヘ. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

本学独自の教育システムである「ゼミ学習」(注1)を通じて、資格取得、就職および明るく楽しいキャンパスライフ(注2)の3本柱を追求することにより「学生から信頼され支持される学校づくり」が実現すると考えている。

キャンパスライフについて、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、主だった活動はできなかったため、今後は感染対策を行い、実施方法を検討していく。

情報システムについては、学務システム(入試システムおよび学籍管理システム)は仮想プライベートネットワーク(VPN網)を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。また、全教職員にパソ

コンを貸与し、業務改善に取り組んでいる。

(3). 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
ハ. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
ホ. 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
ヘ. 授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
ト. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
チ. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
リ. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
ヌ. 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

教員の専門性や教授力等を常にレベルアップするため、年間を通じての自己啓発研修や企業等との連携により最新の動向を取り入れる研修を行っている。

③ 特記事項

本学では、目標とする資格や技術を明確に定め、その習得がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。また、学内就職セミナー等で企業から回収したアンケート回答を基にした「企業が求める人材像」を学生に明示しており、学生が専門的知識や技術を持った上で、動物関連業界を中心に多岐にわたる業界や職種のニーズに対応できる教育を実践している。

カリキュラムは、各コースで目標とする資格の取得および企業の求める人材ニーズに対応するために、カリキュラム作成委員会で必要な科目を体系的に編成し、教育課程編成委員会で得た意見を参考に定期的な見直しを行っている。その際、各科目のシラバスを作成し、カリキュラム編成において目標達成のための科目の適正な配置を行っている。

本学の授業は、開学以来ゼミ学習方式を採り入れており、知識の習得をより確実にするばかりでなく、積極性、協調性、表現力、コミュニケーション力などの人間性をも涵養している。

「愛玩動物看護師法」の成立に伴い、令和4年度に動物看護師学科3年制を設置する。また、ペットショップビジネスコースとペットケア&セラピーコースを統合する。

本年度よりGPAを算定するため、システムを改修し導入した。GPAの算定についてはホームページ上でも公開している。

今年度はコロナ禍の影響による休校があったが、オンライン授業および夏休みの補講により、また1月の緊急事態宣言時はオンライン授業により全ての授業を実施することができた。

また、オンライン授業についてはOffice365およびZoomを利用した。

なお、今年度における学内就職セミナーについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。

(4). 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
イ. 就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
ロ. 資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
ハ. 退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

入学直後の新入生就職セミナーをはじめ、進路決定のための就職・公務員ガイダンス、学内就職セミナー、インターンシップを行っている。また、学内就職セミナーには多数の企業に参加していただいている。

コースごとに目標とする資格を明確にしており、過去の経験に基づき綿密なカリキュラムを組み立てゼミ学習で授業を進めている。その結果が成果としてあらわれている。合格者は毎年ホテルニューオータニ大阪で行われる合格祝賀会に招待されることも、学生のモチベーションを高めている。また、学園内各校と定期的に合格率向上を図るための会議を開いている。

退学者を出さないように、常に担任が学生に声をかけるようにしている。学生が学校に来ることが楽しくなるように担任が心掛けている。また、ゼミ学習を通し友人を作れるように気を配っている。

担任以外にも相談できるように学生相談室を設置している。匿名でも、電話でも相談できるようにしている。無断欠席者には担任が電話連絡して欠席が長期にならないようにしている。

なお、令和2年度における就職出陣式、合格祝賀会などの行事については新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。

(5). 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1

ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
二. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
へ. 学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
ト. 保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

本学の特別奨学生試験や各種特待生制度、経済的理由による修学支援奨学生制度は、貸与ではなく給付である。健康面に対しては、校舎入り口やエレベーター前、教室入り口に消毒スプレーを設置し、手指の消毒、校舎及び教室内の換気の励行をすることで、各種感染症の予防を行っている。また、インフルエンザが流行する時期は罹患状況を把握し、感染拡大防止のための措置(学級閉鎖など)を行っている。新型コロナウイルス感染症対策として、校舎入口での検温および手指消毒、授業前の体調チェックシート記入、授業後の机・椅子、教室出入口の扉の取っ手やトイレ、エレベーターのボタンなど人が触れる箇所の消毒を行っている。また、教室内やロビーの座席、エレベーター内等は、ソーシャルディスタンスを保つようにしている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、主だった学校行事等ができなかったため、今後も感染拡大防止対策を行い、実施方法を検討していく。

令和2年度に本館にWi-Fi環境を整備し、オンライン授業を行った。家庭内にWi-Fi環境が整っていない学生に対しては、モバイルルーターを貸し出し、オンライン授業を受講させた。

就職相談室を設け、就職担当者及びクラス担任が学生の就職相談、履歴書の書き方、就職先の選択、会社訪問、面接対策などの指導を行っている。また、企業の人事担当者を招き学内就職セミナーを実施している。また、学生の希望に沿ってインターンシップを実施している。これにより、ペットサロン、動物病院、ペットショップ、犬の訓練所をはじめ動物業界の就職先開拓につながっている。

学生は様々な悩みを持っており、それらの相談はまずクラス担任にするが、担任に話せない事柄については学生相談室が設けられているので、学生は相談室の担当者に相談している。保護者からの相談はクラス担任だけでなく、学生相談室や就職相談室も利用できるようになっている。学生相談室は、匿名での電話相談にも応じている。

令和2年4月よりスタートした高等教育の修学支援新制度対象校として文部科学省より認定された。引き続き令和3年度も認定されている。

(6). 教育環境

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
ロ. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
ハ. 防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

① 課題

災害時防災マニュアルを更に整備する必要がある。

② 今後の改善方策

災害時対応マニュアルを法令に従って見直していく必要がある。

③ 特記事項

施設・設備は学生に教育上支障がないよう整備されている。さらに、愛玩動物看護師法の政省令に示される養成所の指定基準を満たすための施設・設備の整備を検討する。

例年は、アジリティー大会、ドッグショー見学、動物関連施設等の学外実習、インターンシップ、高齢者施設での介在活動、海外ペット研修を実施するなどしているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止となった。

学校保健安全計画を作成し、防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。

令和2年度に本館に Wi-Fi 環境を整備した。

(7). 学生の受け入れ募集

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
ハ. 学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

入学案内書やガイドブック作成にあたっては、その内容や表現において真実性・明瞭性、法令遵守が必要であることを認識し、広報を中心に作成している。そこに具体的な数字を示すことや合格者等を実名で公表することにより、入学志望者や保護者の方の判断に役立つと思われる。民間就職実績・公務員試験合格実績も本人の了承を得て企業名・氏名・出身校名を掲載している。また毎年単年度の資料を作成しており、今現在の学校の実態を志望者や保護者に正確に伝えている。

本学のホームページはスマートフォンへの対応も行っているので、スムーズに情報が入手できる。また、LINE@、Twitter、Facebook、YouTube を利用した情報提供を行っている。今年度よりオンラインによるオープンキャンパスや進路個別相談会を行っている。オープンキャンパスは YouTube でも行っている。

入学選考のうちAO入学に関しては、本学のアドミッションポリシーを基準として面談を行っている。本学の理解度、今後の学校生活へのやる気を中心に可否の判定を行っている。

入学者に対するアンケートを実施している。その結果、卒業生の活躍が本学への入学にあたり参考になったという意見が多かった。

本学は法人単位での財務情報の公開体制を採っており、学納金が適正かつ公正に使用されていることを明らかにしている。

(8). 財務

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

財務情報の公開は、私立学校法の規定に基づき、財務情報公開規程を定め、開示請求に対応する体制を整備している。

(9). 法令等の遵守

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1
ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	④ 3 2 1
ニ. 自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

定期的に情報セキュリティ研修を実施する必要がある。

③ 特記事項

「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本方針に、教職員には人権研修の受講を義務付けるとともに、その他必要に応じて研修等への派遣や資料を配布するなど、法令・設置基準を遵守するための施策として、法令遵守規定を作成し実施している。また、学生に対しても法令遵守、道徳指導を適宜実施している。個人情報保護に関しては、個人情報保護規程、プライバシーポリシーを設定している。学校の保有する情報を委託業者に取り扱わせる際も覚書等で保護の徹底を行っている。また、教職員には規程の遵守はもとよりインターネット使用時の暗号化なども徹底し、学生には担任を通じて適宜該当する情報を伝えている。また、学生向けに「SNS 利用についてのガイドライン」を配布し、利用上の注意を周知している。

学生の個人情報を利用する場合には、教職員より学生に趣旨を説明し、文書により承諾を得た上で、個人情報を取り扱っている。

自己点検・自己評価については学校関係者評価委員会で報告し評価をいただき、その結果をホームページ上に公開している。

(10). 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
ロ. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1
ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

本学校舎に於いて公認キャットショーの開催、高齢者医療施設等でのドッグセラピー活動や近隣の歩道等の清掃、家庭飼育犬をモデル犬として無料で行うグルーミングなど学生のボランティア活動を奨励し支援している。また、その活動状況を把握し評価している。その他、省エネおよびエコ活動の取り組みなども行っている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため高齢者施設でのドッグセラピー活動、近隣の歩道等の清掃、AJC キャットショーは中止となった。